

令和7年度 近畿府県合同防災訓練 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練 奈良県防災総合訓練

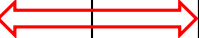
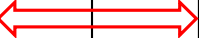
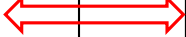


訓練概要

目的	災害対策基本法及び消防組織法等に基づき、県内及び近畿府県等の防災関係機関、関係団体合同で訓練を実施し、災害時における機関相互の連携を深め、広域的な応援受援体制の充実強化を図るとともに県民の防災意識の高揚を図る。
日程	令和7年10月25日(土)26日(日)
訓練場所	奈良市、橿原市、五條市、三宅町、田原本町、高取町、明日香村、広陵町、下市町、十津川村
訓練想定	令和7年10月25日(土)9時00分、中央構造線断層帯を震源とする大規模地震が発生。広陵町及び高取町において最大震度6強を観測。また、数日前からの大雨の影響もあり土砂災害等の甚大な被害が発生している。
訓練場所、 訓練項目 及び 防災啓発展示	図上訓練 奈良県庁会場：災害対策本部運営訓練及び消防応援活動調整本部運営訓練 奈良県広域消防組合消防本部会場：指揮本部及び指揮支援本部運営訓練 実働訓練 広陵町会場：奈良県第二浄化センタースポーツ広場(大規模地震災害対応訓練) 高取町会場：たかとり健幸の森公園及び高取バイパス(大規模地震災害対応訓練) 明日香村会場：飛鳥駅(鉄道輸送訓練) 三宅町会場：三宅町体育館(避難所運営訓練、物資輸送訓練、通信回線設置訓練) 五條市会場：五條市吉野川河川敷(道路啓開訓練) 下市町及び十津川村会場：下市町総合グラウンド、十津川村上野地ヘリポート(要医療避難者・物資搬送訓練) 後方支援訓練 橿原運動公園駐車場、かしはら安心パーク及びコメリパワー田原本店第二駐車場 航空部隊訓練 奈良県ヘリポート(ヘリベース)、橿原運動公園硬式野球場(フォワードベース)、各実働訓練会場 部隊参集訓練 ロート奈良鴻ノ池パーク、ベストライン上野パーク、橿原運動公園駐車場 防災啓発展示 広陵町会場：奈良県第二浄化センター駐車場(啓発展示)
参加機関	緊急消防援助隊：福井県土砂風水害機動支援部隊、滋賀県大隊、京都府大隊、大阪府大隊、兵庫県大隊、和歌山県大隊、三重県大隊、徳島県土砂風水害機動支援部隊 関係機関：陸上自衛隊、航空自衛隊、奈良県警察本部、奈良県DMA T、医療機関、ライフライン関連企業、地元市町村・地元消防団等 県内消防本部：奈良市消防局、生駒市消防本部、奈良県広域消防組合消防本部



令和7年度 近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練・奈良県防災総合訓練

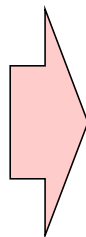
	訓練場所	訓練内容等	25日		26日 午前	訓練内容	関係機関等
			午前	午後			
1	奈良県庁	災害対策本部運営訓練等				・県内で震度6強の地震が発生し、災害対策本部の立ち上げと、緊急消防援助隊、警察、自衛隊が参集し、集結地、災害現場の調整	・消防・警察・自衛隊・奈良県DMAT ・日赤・近畿通信局、関西電力送配電 ・NTT・近畿地整・県(県マネ)
	奈良県広域消防組合 消防本部	指揮本部運営訓練等					
2	第二浄化センター (メイン会場)	①中高層建物救出訓練 ②倒壊建物救出訓練 ③土砂崩落救出訓練				・メイン会場(来賓者等は、この会場) ①一部崩壊した中高層建物からの救出訓練 ②倒壊した建物からの救出訓練 ③土砂に埋没した車両及び家屋からの救出訓練	・各府県緊急消防援助隊 ・各府県防災航空隊 ・奈良県警察 ・DMAT(トリアージポスト) ・仮設病院(大和広陵高校) ・関係機関展示ブース(50程度)
		④防災展示ブース ⑤車両展示ブース				④啓発ブース等による県民への防災意識の高揚 ⑤消防車両(大型水陸両用車等)の展示、消防庁及び消防団の啓発ブース	
3	高取バイパス (サブ会場)	①多重交通事故救出訓練 ②トンネル崩壊救出訓練				・供用前のトンネル及び道路を活用した ①大型バスを含む多重事故の救助訓練及び多数傷病者対応訓練 ②崩壊したトンネルからの救出訓練	・各府県緊急消防援助隊 ・各府県防災航空隊 ・DMAT(トリアージポスト) ・仮設病院(慈母園)
4	たかとり 健幸の森公園 (サブ会場)	①道路啓開訓練 ②土砂埋没救出訓練 ③倒壊建物救出訓練				・高取町有地を活用 ①土砂、瓦礫を除去し進入経路を確保する訓練 ②③傾斜地での土砂崩れにより埋没した建物等からの救出訓練	・各府県緊急消防援助隊 ・各府県防災航空隊 ・陸上自衛隊 ・DMAT(トリアージポスト) ・仮設病院(慈母園)
		④林野火災訓練				④長距離ホース延長が必要な状況下での林野火災訓練	
5	奈良県ヘリポート	航空指揮本部運営訓練				2府7県(奈良県含む)の防災ヘリ等の運用調整訓練	・各府県防災航空隊
6	橿原運動公園駐車場 ロート奈良鴻ノ池パーク 上野公園	部隊参集訓練				・各府県緊急消防援助隊が奈良県に集結する訓練	・各府県緊急消防援助隊
7	橿原運動公園駐車場 コメリ田原本第二駐車場 かしはら安心パーク	後方支援訓練				・緊急消防援助隊の宿営訓練	・各府県緊急消防援助隊
8	飛鳥駅	鉄道輸送訓練				飛鳥駅と近鉄電車を活用し、DMATと自衛隊による、広域搬送訓練 (飛鳥駅と橿原神宮前駅間の電車による患者搬送)	・DMAT・明日香村・陸上自衛隊 ・明日香村消防団
9	三宅町体育館	避難所開設・物資輸送訓練				・三宅町民・看護学生による避難所開設訓練・ボランティアセンター開設訓練等	・自衛隊・チームビルディング・三宅町・社協等
10	下市町・十津川村	要医療避難者・物資輸送訓練				・下市町への関西広域連合救援物資の輸送、十津川村への関西電力送配電停電復旧資材の輸送、及び十津川村の要医療避難者を病院等への搬送訓練	・下市町・十津川村・航空自衛隊 ・陸上自衛隊・関西電力送配電
11	五條市 (吉野川河川敷)	道路啓開訓練				・災害により閉塞された道路のインフラ等関係機関による啓開訓練	・道路マネ課・砂防災害対策課・奈良国 道事務所・土木、交通等の関係機関
12	第二浄化センター 管理棟	広域防災拠点開設訓練				・第二浄化センターを広域防災拠点として活用するための、拠点の開設手順訓練及び救援部隊との受入訓練	・防災統括室・県リエゾン ・下水道センター・救援部隊



1. 奈良県庁(図上訓練)

1. 訓練の背景

今後発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害への備え及び能登半島地震における活動成果・課題等を踏まえ、奈良県の受援力強化及び緊急消防援助隊の連携強化や技術力の向上を図る必要がある。



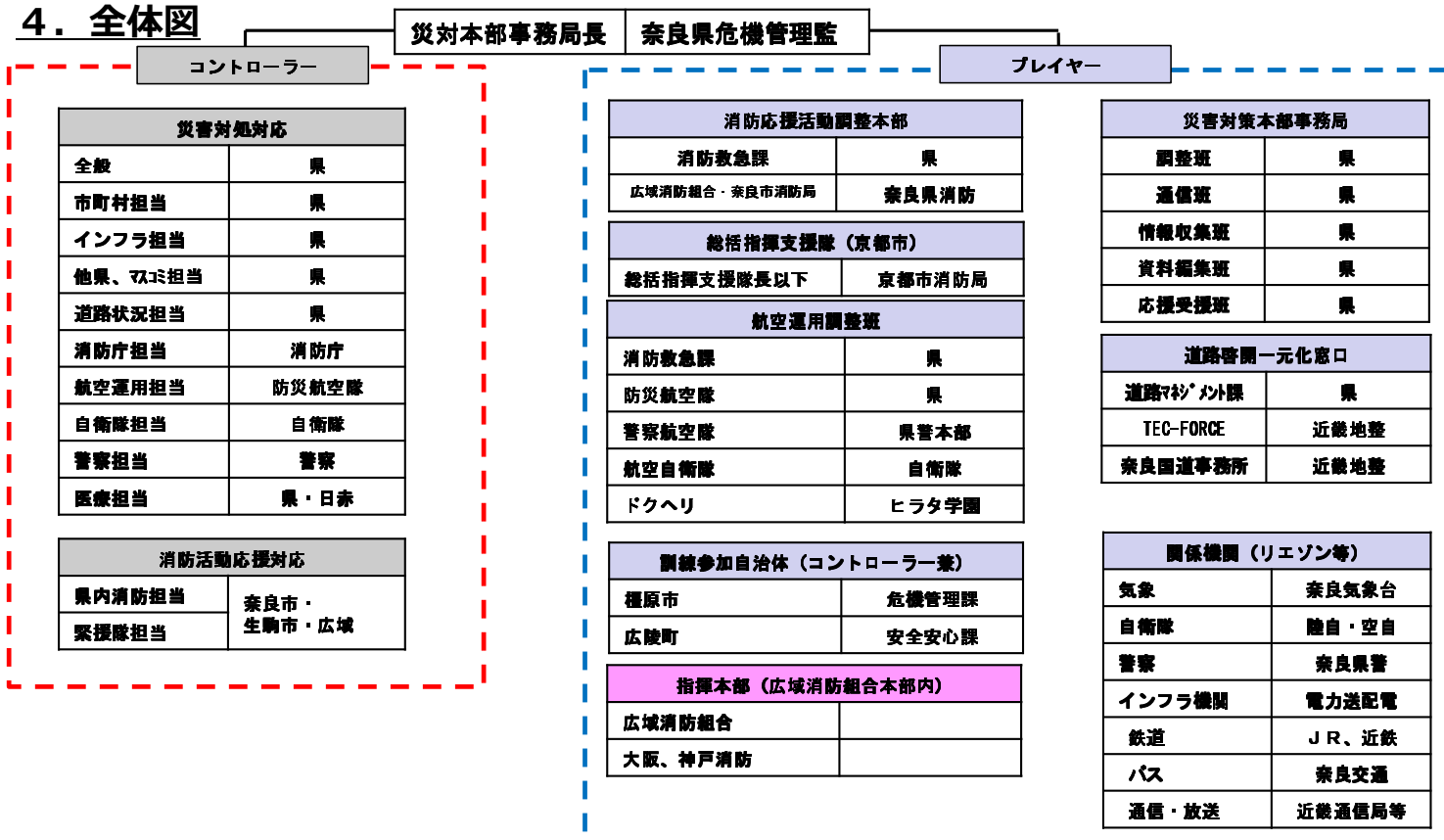
2. 訓練において目指すべき方向性

- ・ 現場から災害対策本部への報告に基づく消防の部隊運用及び活動調整
- ・ 消防活動における陸上部隊と航空部隊との連携
- ・ 災害対策本部内の各調整所の設置と指揮支援活動の実施
- ・ 防災関係機関との活動調整と連携
- ・ 情報の見える化と関係機関との情報共有

3. 訓練想定

令和7年10月25日(土)9時00分、中央構造線断層帯を震源とする大規模地震が発生。広陵町～高取町に至る間において最大震度6強を観測。また、数日前からの大雨の影響もあり土砂災害等の甚大な被害が発生している。県は災害対策本部を設置し、緊急消防援助隊の要請を実施

4. 全体図



5. タイムスケジュール

10月25日(土)

- 9:00 奈良県中央部を震源とする震度6強の地震が発生
- 9:00 奈良県災害対策本部設置
- 9:25 緊急消防援助隊応援要請
災害救助法の適用要請
- 9:35 DMATの派遣要請
- 9:45 自衛隊の災害派遣要請
- 10:30 緊急消防援助隊統括指揮支援隊長
奈良県災害対策本部到着
- 10:45 大阪市、神戸市指揮支援隊
奈良県広域消防組合消防本部到着
- 11:30 奈良県災害本部訓練の終了

6. 参加機関

奈良市消防局、生駒市消防本部、奈良県広域消防組合消防本部、京都市消防局、大阪市消防局、神戸市消防局、奈良県、橿原市、広陵町、近畿地方整備局、近畿総合通信局、奈良地方気象台、陸上自衛隊、航空自衛隊、自衛隊奈良地方協力本部、奈良県警察本部、奈良県DMAT、日本赤十字奈良県支部、JR西日本、近畿日本鉄道、奈良交通、関西電力送配電



2. 第二浄化センター広場(メイン会場)(大規模地震災害対応訓練)

1. 訓練の背景

今後発生が危惧される南海トラフ地震、首都直下地震及び日本海溝千島海溝周辺海溝地震等の大規模災害並びに能登半島地震における活動成果・課題を踏まえ、奈良県の受援力強化及び緊急消防援助隊の連携強化や技術力の向上を図る必要がある。

2. 訓練において目指すべき方向性

- ・緊急消防援助隊の連携強化
- ・進出困難場所への部隊進出
- ・基本計画における新設部隊の検証
- ・デジタルを活用した情報共有体制の強化

3. 訓練想定

- | | |
|------------|--------------------------------|
| ①中高層建物救出訓練 | ⇒中高層建物の1階及び3階の座屈・崩落発生し多数負傷者が発生 |
| ②倒壊建物救出訓練 | ⇒木造密集地において建物崩壊が発生し多数負傷者が発生 |
| ③土砂崩落救出訓練 | ⇒土砂崩れにより複数車両、建物が埋没し負傷が発生 |

4. 全体図



5. タイムスケジュール

10月25日(土)

9:30頃 奈良県防災ヘリが上空偵察
13:15 各府県統合機動部隊 到着
14:00 順次各府県大隊 到着
活動終了後に約30分の活動検証

10月26日(日)

8:00 展示車両の配置
AM 奈良県防災ヘリが上空偵察
8:30～11:30 京都府大隊・兵庫県大隊活動
11:00 防災ヘリによるPUT訓練2回
11:30～12:00 活動検証
12:00～12:30 閉会式

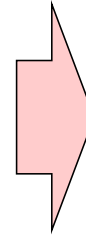
6. 参加機関

- ・各府県緊急消防援助隊
- ・各府県防災航空隊
- ・奈良県警
- ・DMAT (トリアージポスト)
- ・大和広陵高校 (仮設病院)
- ・関係機関展示ブース 等

3. 高取バイパス(サブ会場)(大規模地震災害対応訓練)

1. 訓練の背景

今後発生が危惧される南海トラフ地震、首都直下地震及び日本海溝千島海溝周辺海溝地震等の大規模災害並びに能登半島地震における活動成果・課題を踏まえ、奈良県の受援力強化及び緊急消防援助隊の連携強化や技術力の向上を図る必要がある。



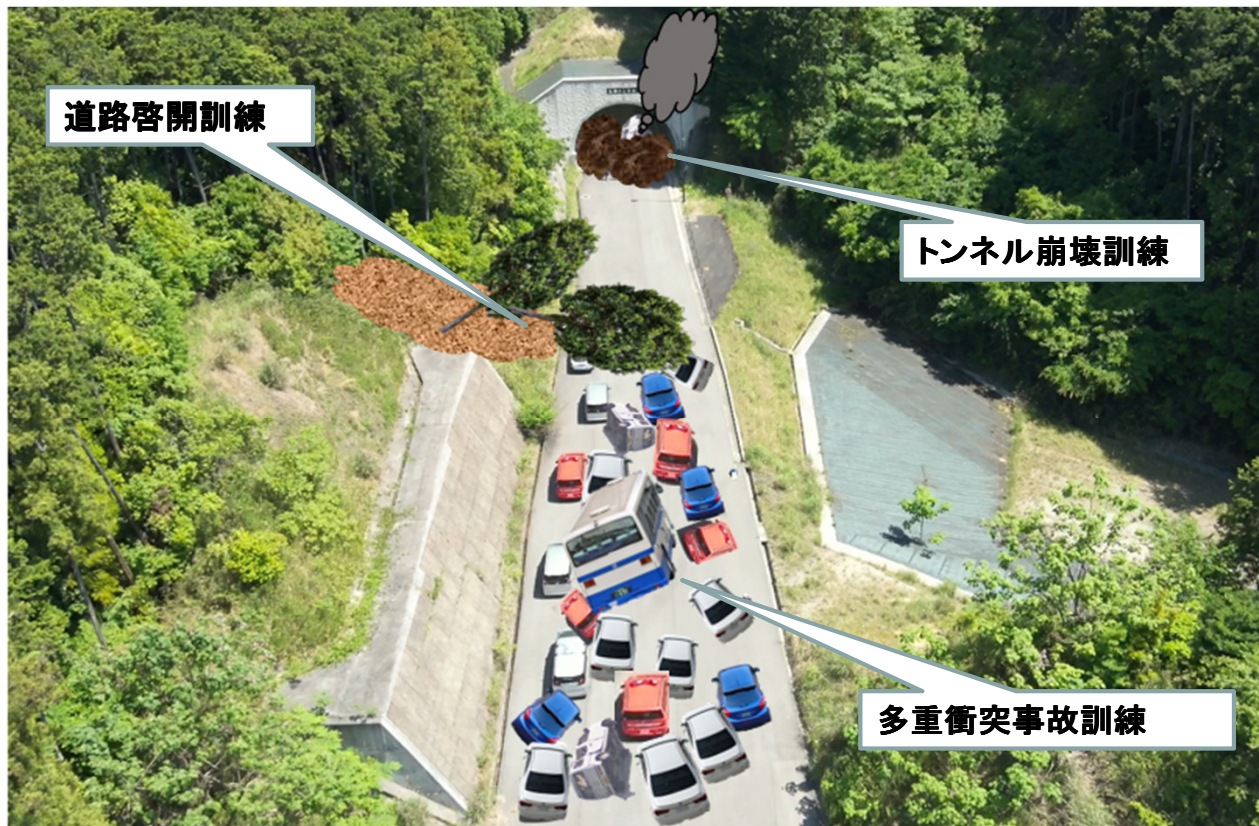
2. 訓練において目指すべき方向性

- ・緊急消防援助隊の連携強化
- ・進出困難場所への部隊進出
- ・基本計画における新設部隊の検証
- ・デジタルを活用した情報共有体制の強化

3. 訓練想定

地震によりバイパス上のトンネル崩壊が発生し、複数台の車両が巻き込まれ要救助者を取り残されている。また、バイパス上では運転を誤った車両の多重事故が発生し多数の負傷者が発生している状況

4. 全体図



5. タイムスケジュール

10月25日(土)

【陸上部隊】

13:00 各府県統合機動部隊 到着

※順次各府県大隊 到着

13:00~18:00 多重追突事故訓練

13:30頃 たかとり健幸の森での災害状況を追加付与
要救助者は慈母園(仮設病院)に搬送

18:00~18:30 活動検証

【航空部隊】

9:30 上空偵察

14:30 高取バイパスでPU訓練

10月26日(日)

8:30 部隊到着

8:30~11:30 トンネル崩落訓練

11:30~12:00 活動検証

6. 参加機関

- ・各府県緊急消防援助隊 ・各府県防災航空隊
- ・DMAT(トリアージポスト) ・仮設病院(慈母園)

4. たかとり健幸の森公園(サブ会場)(大規模地震災害対応訓練)

1. 訓練の背景

今後発生が危惧される南海トラフ地震、首都直下地震及び日本海溝千島海溝周辺海溝地震等の大規模災害並びに能登半島地震における活動成果・課題を踏まえ、奈良県の受援力強化及び緊急消防援助隊の連携強化や技術力の向上を図る必要がある。

また、前年度各地で発生した大規模林野火災(県内でも川上村で発生)における効果的な消火体制確立の検証が必要。

3. 訓練想定

- ①傾斜地にある街区が土砂崩れにより埋没及び震災による建物崩壊により多数負傷者が発生
- ②上記災害により林野火災が発生し延焼拡大するも消防力が劣勢で対応困難

4. 全体図

訓練想定イメージ



林野火災想定イメージ(10月26日)



2. 訓練において目指すべき方向性

- ・緊急消防援助隊の連携強化
- ・進出困難場所への部隊進出
- ・基本計画における新設部隊の検証
- ・デジタルを活用した情報共有体制の強化
- ・エネルギー・産業基盤災害即応部隊により長距離大容量送水の有効性の検証

5. タイムスケジュール

10月25日(土)

陸上部隊

- ①高取バイパスに各府県統合機動部隊が到着
- ②統括指揮の決定
- ③多重交通事故に対し活動開始
- ④約30分後に健幸の森での災害状況を追加付与(順次部隊は到着)
- ⑤統括指揮が高取バイパス、健幸の森への振り分けを指示
- ⑥18時に活動終了し活動検証(30分)
※要救助者は慈母園(仮説病院)に搬送

航空部隊

- ① 9時30分 上空偵察
- ②14時00分 健幸の森PU訓練2回(三重防災・滋賀防災)

10月26日(日)

陸上部隊

- ① 8時30分部隊到着
- ②11時30分活動終了
- ③活動検証(30分)
※活動府県は前日夜間の活動ミーティングで決定

航空部隊

- ① 9時00分 上空偵察
- ②11時00分 健幸の森散水訓練2回(和歌山防災)

6. 参加機関

- ・各府県緊急消防援助隊
- ・各府県防災航空隊
- ・陸上自衛隊
- ・DMAT(トリアージポスト)
- ・仮説病院(慈母園)



5. 奈良県ヘリポート(航空指揮本部運営訓練)

1. 訓練の背景

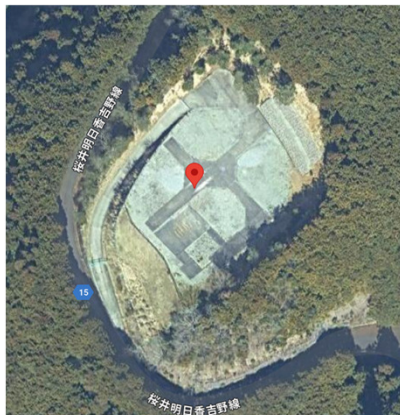
今後発生が危惧される南海トラフ地震、首都直下地震及び日本海溝千島海溝周辺海溝地震等の大規模災害並びに能登半島地震における活動成果・課題を踏まえ、奈良県の受援力強化及び緊急消防援助隊の連携強化や技術力の向上を図る必要がある。

受援時には、多数の防災ヘリが本県HB（ヘリベース：奈良県ヘリポート）等に参集し、多数の災害現場に対し有効な活動が必要となる。

3. 訓練想定

令和7年10月25日（土）9時00分、中央構造線断層帯を震源とする大規模地震が発生。広陵町及び高取町において最大震度6強を観測。また、数日前からの大雨の影響もあり土砂災害等の甚大な被害も発生。26日（日）には高取町において林野火災も発生、空中消火の要請あり。

4. 全体図



ヘリベース（HB：基本拠点）

フォワードベース（FB：進出拠点）

被災地近くに設置され、ヘリベースに戻らずに離着陸・給油等に活用

奈良県ヘリポート

災害時の航空部隊の受援、活動の拠点となる母基地

- ・航空指揮支援本部運営訓練
- ・任務付与、給油、活動報告等

奈良県防災航空隊ほか、9県市航空隊が訓練

橿原市営公式野球場

- ・指揮支援隊輸送訓練
- ・高取バイパスおよびたかとり健幸の森公園におけるPU（ピックアップ）訓練 等

静岡県ほか5府県市航空隊が訓練

千股ヘリポート

- ・林野火災消火訓練

和歌山県防災航空隊が訓練

2. 訓練において目指すべき方向性

- ・航空運用調整班や航空指揮本部、航空指揮支援隊の連携強化
- ・災害状況の把握と、それに基づいた的確な指揮能力をいかに発揮し災害収束を目指す。
- ・実災害をイメージしながら、給油体制等、問題点の把握に努める。

5. タイムスケジュール

日時	訓練名	参加航空隊
10月25日 (1日目)	航空指揮本部及び航空指揮支援本部運営訓練	・奈良県防災航空隊 ・岡山県消防防災航空隊 ・静岡県消防防災航空隊
	指揮支援隊輸送訓練	・京都市消防航空隊 ・神戸市航空機動隊
	航空指揮支援隊・航空小隊参集訓練	・兵庫県消防防災航空隊・滋賀県防災航空隊 ・和歌山県防災航空隊・三重県防災航空隊 ・福井県防災航空隊・徳島県消防防災航空隊 ・岡山県消防防災航空隊・静岡県消防防災航空隊
	航空部隊 情報収集訓練	・奈良県防災航空隊(ヘリの有無で変更) ・国土交通省近畿地方整備局
	航空部隊 大規模土砂崩落現場救出救助訓練	・三重県防災航空隊 ・滋賀県防災航空隊
	航空部隊 橋梁多重事故現場救出救助訓練	・兵庫県消防防災航空隊
	航空部隊 活動ミーティング訓練	・参加航空隊

日時	訓練名	参加航空隊
10月26日 (2日目)	航空指揮本部及び航空指揮支援本部運営訓練	・奈良県防災航空隊 ・岡山県消防防災航空隊 ・静岡県消防防災航空隊
	航空部隊 林野火災消火訓練	・和歌山県防災航空隊
	航空部隊 中高層建物救出救助訓練	・福井県防災航空隊 ・徳島県消防防災航空隊
	航空部隊 活動ミーティング	参加航空隊

6. 参加機関

各防災航空隊（奈良県、岡山県、静岡県、京都市、大阪市、神戸市、兵庫県、滋賀県、和歌山県、三重県、福井県、徳島県 ※出場順）
国土交通省近畿地方整備局、航空自衛隊、陸上自衛隊

